HCE-C2000RD/HCE-C2000RD-W

マルチビューリアカメラ　取扱説明書

⚠注意　本製品は接続ケーブルが別売となります。ダイレクト接続ケーブル（KWX-G001）または車種専用ダイレクト接続ケーブルを別途お買い求めください。

お客様へ

このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

充実したサポートとサービスのために是非お客様登録をお願いします。

アルパイン製品をご購入いただいたお客様を対象にしたサポート・サービスをはじめ、アルパインサイトの様々なオンラインサービスをご利用いただけます。

詳しくは以下のサイトまで！

https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html

◆アルパイン個人情報保護方針◆

1. 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、以下のような目的で利用されます。

・郵送及び電子メールによるお知らせやアンケートの発信。
・アンケートのご回答やプレゼント応募に対する景品・商品等の発送。
・お問合せに対する連絡・確認。

2. 個人情報の開示について

当社は、お客様からご提供を頂いた個人情報を適切に管理します。当社は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、お客様の個人情報を第三者に開示することは原則としていたしません。

・お客様の同意がある場合。
・お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合。
尚、その場合当社は業務委託先に対して機密保持契約を締結する等の方法により、その業務委託先からの漏洩、再提供の防止を図ります。
・お客様を識別することができない状態で開示する場合。

販売店様へ

ご購入後は必ずこの説明書をお客様へお渡しください。

アルパイン マーケティング株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in Korea
73-01110090
68M17138K46-0

規　格

	HCE-C2000RD/HCE-C2000RD-W
電源電圧	6.0V DC（動作範囲：5.0 ～ 9.0VDC）
アース方式	マイナスアース方式
消費電力	1.2W（6.0V）
出力映像	鏡像映像、CVBS、16:9 ワイド画面用映像出力
出力ドライブ能力	1Vp-p（75 Ω）
撮像素子	1/4 インチ CMOS イメージセンサ 画面比 4:3
有効画素数	1280(水平) × 960(垂直)　約 120 万画素
レンズ部	焦点距離　f=1.27mm、明るさ　F=1.8
画角	水平 約 180°、垂直 約 125°
映像自動調整機能	自動光量調整、自動白調整
防水防塵構造	JIS 保護等級 IP68
S/N	8.41Lx
解像度 (水平)	330TV 本以上 (中央部)
照度範囲	約 1.5Lx ～ 10 万 Lx
動作温度範囲	－ 30℃ ～ +70℃
外形寸法（W × H × D）	23.6 × 23.6 × 26.1mm（背面突起部を除く）
重量	32g（コード含む）

当製品は「道路運送車両の保安基準」の改正に適合しています。
※本製品は、2009 年 1 月 1 日以降に登録された自動車にも取付け可能です。

保証について

保証について

● この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お受け取りください。
● 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
● 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

● 調子が悪いとき
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
● それでも調子が悪いとき
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または右記「お問い合わせ窓口」にある修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。
● 保障期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
● 保障期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
● 補修用性能部品
製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。
● アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または右記「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
● 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。
● 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
● 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
● 本製品は国内専用です。

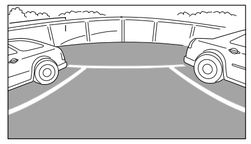
映像パターンについて

リアカメラ映像表示中にディスプレイ上のタッチスイッチを押すことで映像パターンを切りかえることができます。

マルチビュー リアカメラ (HCE-C2000RD) 対応以外の製品は、別売の PKG-C2500F が必要になります。
映像パターンを切りかえる際は、PKG-C2500F 付属のスイッチで切りかえます。
詳しくは、PKG-C2500F 付属の取扱説明書をご覧ください。

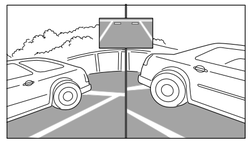
パノラマ

● **パノラマビュー：**
車両後方を全体的に映す映像です。主に車両後方を全体的に確認したいときにご利用ください。



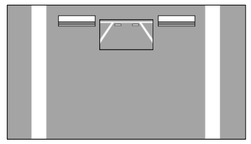
コーナー

● **コーナービュー：**
映像中央から左右半分に分けて、左右方向を映す映像です。
主に左右方向を確認したいときにご利用ください。



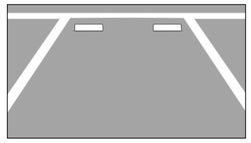
トップ

● **トップビュー：**
車両上方から真下方向を映す映像です。
主に車両後方の段差、縁石、車止めなどを確認するときにご利用ください。



バック

● **バックビュー：**
車両後方を映す映像です。主に車両後退時に後方を確認するときにご利用ください。



Memo

● 車両周辺状況は必ず運転者の目視でご確認ください。カメラ映像は周辺状況確認の補助のためにご使用ください。
● 本機は取り付け状況により、実際のカメラ映像がイメージと異なる場合があります。

※ 映像の切りかえ操作については、組み合わせる製品の取扱説明書を参照してください。

（平成29年5月1日現在）

お問い合わせ窓口

●製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
●修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
●ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

● インフォメーションセンター
＜電話でのお問い合わせ＞
TEL：0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
（携帯電話・PHS：20秒10円）
一部のIP電話など、接続できない場合は次の番号をご利用ください。
TEL：03-6704-4926
＜メールでのお問い合わせ＞
ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。

携帯OK

● 電話受付時間（日曜・祝日・弊社休業日を除く）
月曜～金曜日　9：30～17：30
土曜日　9：30～12：00 / 13：00～17：00
＜FAXでのお問い合わせ＞
FAX：045-522-8700

● アルパインホームページ　http://www.alpine.co.jp
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介しています。

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス（株）東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス（株）西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

● 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
● ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。
説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
● この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

配線・取り付けに関して

DC12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。	強制	取り付け･アース接続には、ハンドル･ブレーキ･タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。	禁止
配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。	⚠	助手席エアバッグの近くに製品を取り付けないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。	禁止
分解･改造をしないでください。事故･火災・感電の原因になります。	禁止	コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル･変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。	⚠
ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。	⚠	走行前にカメラ取り付け台の貼り付け状態、ネジの緩みがないか点検してください。事故の原因になります。	⚠
コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。	禁止	カメラの取り付け作業を行うとき、カメラの取り付け状態を点検するときなどは、車を平坦で安全なところに停めて必ずエンジンを切り、サイドブレーキを確実に引いた状態で行ってください。事故の原因になります。	強制
前方の視界を妨げる場所、ハンドル･変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。	禁止	ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等を使用して目に切り子や破片が入らないように保護をしてください。ケガの原因になります。	⚠
車体に穴を開ける場合には、パイプ･タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。	⚠		

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

配線・取り付けに関して

説明書に従って、正しく接続してください。火災･事故の原因になります。	禁止	カメラ本体以外は水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。	禁止
コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。	⚠	カメラ本体は、車幅・車の前後からはみ出ない場所に取り付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。	禁止
取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。また、取り付け場所を移す場合や取り付け車両を変更する場合もお買い上げ店に依頼してください。	⚠	コード類の配線は高温部・可動部を避けて行い、しっかり固定してください。高温部に接触してコードの被覆がとけたり、可動部品による咬み込みによりショートや断線が起こり火災・感電の原因になります。	⚠
付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。	禁止	カメラ取り付け台をフッ素樹脂加工処理された車体やガラスに取り付けないでください。カメラ取り付け台がはがれて事故やケガ・車体を傷つける原因になります。	禁止
カメラ取り付け台は接着シートが全て接着できない面には取り付けないでください。カメラ取り付け台の取り付け強度が弱くなりはがれて事故やケガ・車体を傷つける原因になります。	禁止		

ご使用に関して

車両後退時の後方・周辺確認は必ず運転者の目視で行ってください。バックビューカメラは車両周辺確認のための補助装置です。画面に映し出される映像は車両周辺状況の一部です。カメラは広角レンズを使用しており、通常の視界と映し出される映像では距離感が違います。また、バックビューカメラの映像は鏡像映像です。ディスプレイ上にはルームミラーと同様の映像が映ります。	⚠	映像が出ない、異物が入った、煙がでる、変な臭いがしたときは、ただちに使用を中止しお買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。	禁止　強制
		運転中は、画面を見るのを最小限にする。走行中に画面を見ていると前方不注意となり事故の原因になります。	⚠

ご使用に関して

車以外に使わないでください。火災・感電の原因になります。	禁止

取り扱い上のご注意

● 本機の映像について
バックビューカメラの映像は鏡像映像です。ディスプレイ上にはルームミラーと同様の映像が映ります。本機は広角レンズを使用しているためにディスプレイ上の映像と実際の距離とは異なります。
● 本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない
画面ノイズや誤動作の原因になる場合があります。携帯電話や無線機は本機から離れてご使用になることをお勧めします。
● 無理な力を加えない
カメラ向きのズレ、カメラ取り付け台はがれの原因になりますので、カメラ、取り付け台に無理な力を加えないでください。
またカメラ破損の恐れがありますので飛び石等にはご注意ください。
● 本機は国内で使う
本機は国内のみでお使いいただけます。外国ではお使いになれません。
● お手入れについて
レンズに雨滴や汚れが付着した場合、やわらかい布に水を含ませて拭いてください。カメラのレンズ部分、取り付け台、コード類は変形や劣化をふせぐため薬品や磨き粉等を使用しないでください。
● 洗車時の注意
自動洗車機や高圧洗車は行わないでください。カメラ外れやカメラコード損傷の原因になります。また、カメラ内部や車体内に水が入り込む恐れがあります。
● 夜間のご使用について
本機を夜間や悪天候時にご使用になるときは映像が見えにくくなるときがあります。必ず目視にて車両周辺状況をご確認ください。

ご使用前のご注意

● バックする際は、必ず目視で後方を確認してください
・本製品は鏡像タイプの（バックミラーやサイドミラーと同様に映す）後方確認用カメラです。
・本製品はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。
・本製品は広角レンズを使用しておりますので、近いところは広く、遠いところは狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。

ご使用上のお願い

● 定期的に取付状態を点検してください
・ねじのゆるみや、ブラケットがはがれていないことを確認してください。
・コードを車内へ引き込んでいる箇所の防水ゴムがゴムパッキンに平行にあたっていることを確認してください。
● 免責事項について
・火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
・本製品の保証書は、当該製品を業務用の車両（バス・トラック・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象になりません。

取り付けと接続

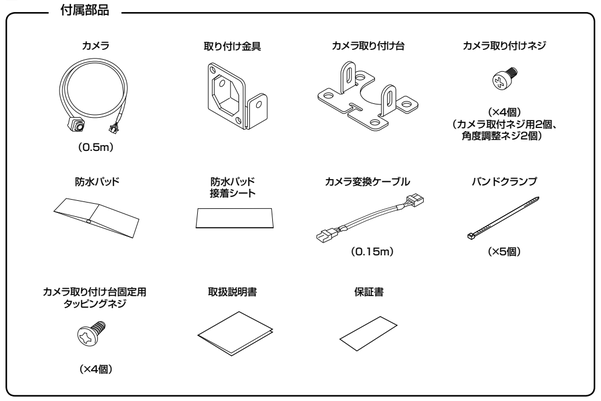
1. はじめに

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」をお買い上げの店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、操作も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- 本機の取り付けには車体に穴あけ加工をする場合があります。加工部の防腐処理のためタッチアップペイント（市販品）が必要ですので事前に準備をしてください。
- 取り付けの前に製品を取り付けできるスペースがあるかご確認ください。
- 雨や霧の中では取り付け作業を行わないでください。
- 湿気の多いときは、取り付け面を充分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると接着力が低下してはがれる恐れがあります。
- 気温が低い環境や取り付け面の温度が低い場合は、接着力を上げるためにドライヤーなどで取り付け面を暖めてから取り付けてください。
- 取り付けてから 24 時間以内は次のことは行わないでください。
  - 雨に当てない。
  - 水を掛けない。洗車をしない。
  - ケーブルやカメラ本体に無理な力をかけない。
  - カメラ本体部のアルミ部分にはアルマイト処理を行っております。そのため、ABS 樹脂部分と若干塗装色が異なる事がございます。

取り付けと接続

1 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。



別売部品

⚠ 注意

- 車種専用カメラパーフェクトフィット（別売）を使用して取り付ける場合、取付説明書に記載されているネジの形状が、本製品付属のネジと一部異なる場合がございます。
- 接続ケーブルは別売となります。上記のダイレクト接続ケーブル（KWX-G001）または車種専用ダイレクト接続ケーブルを別途お買い求めください。

2 車を安全で平坦な場所に停める。

パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。

3 バッテリーのマイナス端子を外す。

Memo
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

4 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。

5 車から取り付けブラケットごとカーナビゲーション / モニター製品を外す。

6 カーナビゲーション / モニター製品に付いているケーブルを外す。

Memo
- 取り外しの際には変形等が考えられますので、作業には十分ご注意ください。

2. カメラを取り付ける

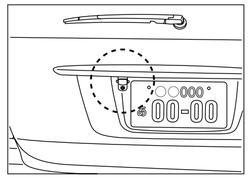
〈車種専用ダイレクト接続ケーブル/取付キット（別売）を使用する場合〉

車種専用ダイレクト接続ケーブル/取付キット（別売）に付属の取付説明書を参照してください。

〈ダイレクト接続ケーブル（KWX-G001：別売）を使用する場合〉

1 取り付け例を参照して、カメラ・取り付け台が車体へ干渉しないことを確認してから取り付け位置を決めてください。

リアガーニッシュへの取り付け例



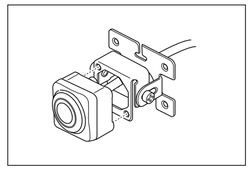
① カメラ取り付け位置の確認をする
カメラを取り付け金具・取り付け台に取り付け、車両の取り付けたい位置に合わせてカメラの角度調整を行い、カメラが車両や車両部品にあたらないことを確認してください。
取り付け位置に凸凹がなく平らな面であること、カメラ取り付け台の接着面が全て接着できること、角度調整ネジ（両側）の締め付けができることを確認してください。

⚠ 注意

- カメラはナンバープレートにかからないように取り付けてください。
- カメラはなるべくガーニッシュの中心にくるように取り付けてください。
  左右に大きくずれて取り付けるとイメージと見え方が異なる場合があります。
- バックドアやトランクの開閉時にカメラや、ケーブルがあたらないことを確認してください。

2 カメラとカメラブラケットを組み立てる。

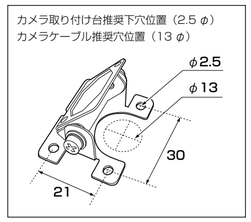
カメラの取り付け



① 取り付け金具とカメラ取り付け台を角度調整ネジを使用して図のように取り付ける。
② カメラの上下を確認し、カメラケーブルをブラケットの取り付け金具にとおす。
・ロゴの印刷面がカメラの上面になります。
③ カメラ取付ネジを使用してカメラを取り付け金具に固定する。

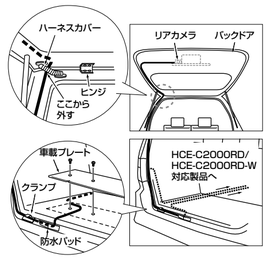
3 カメラブラケットを車体に取り付ける。

ケーブル下穴開け



① カメラブラケットを取り付けるおおよその位置を決める。
② カメラの角度を調整する。
はじめに、カメラを車両進行方向に対して真後ろを向くように調整する。
その後、カメラを地面に対して約 30 度下を向くように調整する。
③ カメラ取り付け部に、ケーブル配線用の下穴（φ 13）をドリルで開ける。
また、必要に応じて、カメラ取り付け固定用ネジの下穴（φ 2.5）も開ける。
・金属に穴あけ加工を行った場合、加工穴の断面及び周辺にタッチアップペイントをしっかり塗り、十分に乾燥させてください。
④ 取り付け面の汚れやほこりをクリーニングクロス（別売）で拭き取る。
⑤ カメラケーブルを開けた穴に通し、ケーブルを車体中に送る。
⑥ カメラケーブルを通した穴は、防水テープ（市販品）やシーリング剤（市販品）で、しっかり防水を行ってください。
⑦ カメラブラケットの接着テープ保護紙をはがし、カメラブラケットを車体に取り付ける。
必要に応じて、カメラブラケットを取り付け台固定用タッピングネジで固定する。

4 カメラケーブルを配線する。



① カメラケーブルを配線する。
② 雨が入らないように防水パッドやクランプで配線する。

Memo
- ケーブルの配線の際は、突起部や金属の縁などにあたらないように取り回してください。

5 接続する。

⚠ 注意

正しい接続をする。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
接続については、HCE-C2000RD/HCE-C2000RD-W 対応製品の取扱説明書を参照し、必ずマルチビューリアカメラ入力に接続してください。

● 基本接続図

対応ナビゲーション
2016年モデル以降のアルパイン製カメラダイレクト接続対応ナビゲーション
（EX11Z/EX11V/EX10Z/EX10V/EX9Z/EX9V/EX8Z/EX8V/X9Z/X9V/X8Z/X8V/7WZ/7WV/7DVなど）

※ 2015年モデル以前のアルパイン製ナビゲーション(EX10/EX9/EX8/X9/X8/7W/7Dシリーズなど)にも接続は可能ですが、車種専用ガイドライン設定値が一部異なります。
※ HCE-C2000RD/HCE-C2000RD-W 対応製品については、インフォメーションセンターへお問い合わせいただくか、アルパインホームページ(http://www.alpine.co.jp)でご確認ください。

3. 確認する

1 コード類を固定する。

カメラケーブルの配線、固定
付属のバンドクランプでケーブルを止めながら配線を行なう。

カメラコードを車室内に引き込む際は
・ トランク / バックドア、ヒンジ等に咬み込まないように引き回す。
・ ヒンジ・ケーブルカバーの外側を通す。
※配線終了後はトランク / バックドアの開閉を何度か行い、ケーブルの挟み込み、こすれ、つぶれがないことを確認する。

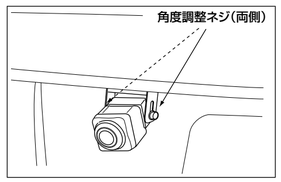
ビデオ接続コードの固定
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部にあたったりしてコードを傷めないように注意して配線し固定する。

2 モニターやナビゲーション等、カメラ取付けのために外した製品を元に戻してから、バッテリーマイナス端子を接続する。

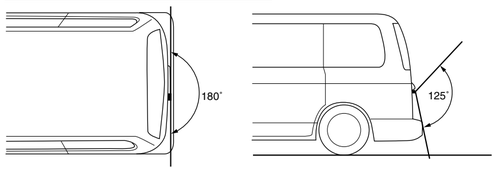
3 イグニッションキーを ON にして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

4 カメラの角度を調整する。

カメラの取り付け



① 車を水平な場所へ停車する。
② カメラ取り付け台の角度調整ネジを緩め、カメラの角度を調整する。
③ イグニッションキーを ON にして、シフトレバーをリバースに入れる。ディスプレイ上の映像を見てカメラの角度を確認する。
④ 取り付け台のはがれに注意して、角度調整ネジをしっかり締め付ける。



⚠ 注意

- カメラの角度を調整するときは、必ずイグニッションキーを OFF にし、サイドブレーキを確実に引いて行ってください。車両が動くと事故の原因となります。

5 ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

その他

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いで故障と間違えていませんか。 → 接続・配線は正しく行われていますか。 → 下の表をもう一度ご確認ください。 → それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口にご相談ください。

カメラの映像が出ないなど正常に動作しなくなった場合は、操作にもとづいてもう一度操作しなおしてください。それでも正常に動作しないときは、下表を参照して処理を行ってください。

故障かな？（症状）	お答えします。（原因）
カメラの映像が出ない。（カメラ以外の映像は正常）	
イグニッションキーが ON 以外の位置になっている。	イグニッションキーを ON の位置にしてください。
ヒューズが入っていないか断線している。	ヒューズを入れるか、原因を確かめてからヒューズを交換する。
正しく接続されていない。	本取扱説明書を参照して正しく接続されているか確認する。
ディスプレイのリバース線が接続されていない。	ディスプレイの取扱説明書を参照してリバース線を接続してください。
ディスプレイのカメラ入力にビデオ接続コードが接続されていない。	ディスプレイの取扱説明書を参照してカメラ入力にビデオ接続コードを接続する。
カメラの映像が正常でない。（カメラ以外の映像は正常）	
ディスプレイの画面がちらつく。	蛍光灯などで照らされた場所を映した場合、ディスプレイの画面がちらつくことがありますが故障ではありません。
次のようなとき画面が見えにくくなりますが、カメラの特性で故障ではありません。	暗いところを映したとき 部分的に明るい光を映したとき カメラ本体部付近の温度が高温のとき
画面が見えにくい。	暗いところを映したとき、部分的に明るい光を映したとき、カメラ本体部分の温度が高温のとき、画面が見えにくくなりますがカメラの特性で故障ではありません。
カメラの映像がゆれる。	取り付け台がはがれていないか、角度調整ネジが緩んでいる。
カメラの映像が不鮮明。	カメラのレンズが汚れている場合は柔らかい布に水を含ませて軽くレンズを拭いてください。
画面に白線（光の縦線）が出る。	太陽光を直接映したり、強い光（ボディからの反射やヘッドライト等）が入った場合、光源の上下に明るい縦線が現れることがあります（スミア現象）。→故障ではありません。
他	
ラジオにノイズが入る。	シフトレバーがリバース時にラジオにノイズが入るときは、カメラのケーブル、ビデオ接続コードを車両のワイヤーハーネス・ラジオのアンテナ・アンテナ線より離してください。